

2011年度「森の学校」第5回開催レポート

神奈川センター 中村

今期最終回の森の学校が、10家族32名のご参加で開催されました。
最後のテーマは「竹炭と花炭づくり」。
あいにくの雨模様で作業は屋根のある炊事場で行ないました。
まずは、竹炭用の竹をペール缶のサイズに切るのですが、これが結構大変。



子どもとお父さんやお母さんとタッグを組んで長い竹を加工します。



のこぎり使いもなかなか決まってきました。かっこいいね～。
切った後は、ナタで縦に割ってから節をかなづちなどで取り除きます。

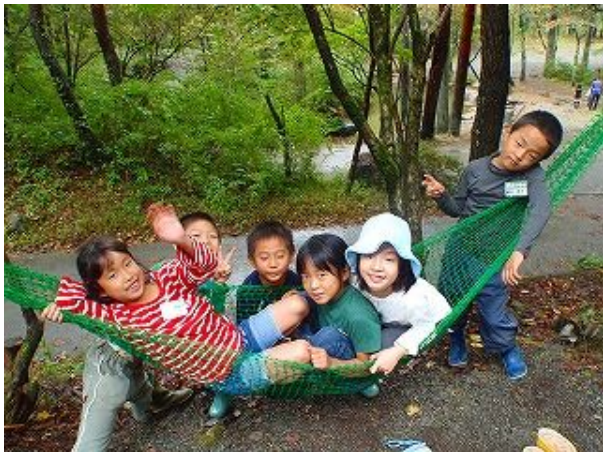


みんな上手だね。



ここまでで、午前中の作業は終了。

お昼には雨も止んで、昼休みにはハンモックでリラックスムード派と近くの池でアクティブ派。



みんな元気に思い思いの方法で昼の自由時間を楽しみました。

午後はいよいよ切った竹と山から採ってきた花や松ボックリなどを炭にする作業。



ペール缶の中に炭にする材料を入れたらしっかりふたをしめ、直接火にくべて焼き上げます。ペール缶のふたには蒸気穴を開けているのでここから出る煙の色が変化すると出来上がり。その缶の隙間には、お楽しみのさつま芋を火の中に入れて焼き芋まで！！



出来上がった松ボックリとイガグリ

焼きあがったお芋

どちらも上手に美味しく仕上がりました。

2011年度の森の学校は、今回の開催で終了しました。

みんないろんな思い出ができたかな？